

令和7年度 学校関係者評価及び改善策

( 中間 **最終** )

広中央中学校区 校番 4 学校名 呉市立広小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目標、指標の設定は適切である。学校全体で何度も話し合い、全校で取り組んでいることを感じる。</li> <li>○自尊感情・自己肯定感を向上させるために、委員会活動で具体的な取組がされているのがよい。</li> </ul>
目標達成のための方策の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○落ち着いて授業に取り組めるよう「ベルスタート」や「ひろっこ学びのスタンダード」を継続して取り組み、成果が出ている。</li> <li>○「考える授業づくり」を行うことで学力調査において全国平均を上回るよい結果が出ていることは、大変良好である。</li> <li>○ICT機器の活用がさらに進んでいる様子が見られた。(ロイロノート・AI型タブレットドリル「キュービナ」等)</li> </ul>
自己評価の結果の分析の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○UD化の視点で授業づくりを行い、実践内容を教職員で共有する工夫がされている。これを基に、継続して基礎基本の定着を地道に行っていくことが重要であると感じる。</li> <li>○自己肯定感の向上に関して、委員会での取組やアンケート内容の具体化で、自分のよさを認知できる児童が増え、成果が出ている。しかし、低い児童へも目を向け、声かけや見守りを継続してほしい。</li> </ul>
今後の改善策(案)の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今年度の取組を来年度にも生かしていけるようにする。</li> <li>○防災教育の深化に向けて、全校や各学年で取り組んでいるが、児童は自宅から避難場所までの道のりを把握できているのだろうか。学校だけでなく、家庭や地域も一緒に取り組める内容を今後考えていくとよい。</li> <li>○体力面において、特に高学年の体力・運動能力が気になる。低学年のうちから運動の楽しさを体験させること。また、中学校区でどう取り組むのか課題を検討してほしい。</li> </ul>
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>○子供たちの成長を地域全体で支え、見守っていく環境が大切である。</li> <li>○落ち着いて学習に取り組むには、小学校でしっかりとした学習習慣を身に付けておかなければならない。小学校で身に付いていなければ中学校では難しい。小学校から中学校へ円滑につなげる必要がある。</li> <li>○AI型タブレットドリル「キュービナ」を効果的に活用すれば、学習意欲が高くなるかもしれない。興味深いし、一般でも使えるようにしてほしいくらいだ。</li> <li>○不登校児童への対応を複数(チーム)で行うこと。</li> <li>○業務改善を進めるのに、教職員だけで取り組もうとせず、周囲に協力を求めることも必要である。</li> </ul>

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今年度の学校評価の成果と課題を共有する場を設定し、共通認識をもつ。その後、来年度の見直しを分掌ごとに話し合い、より達成感のあるものに改善していく。また、進捗状況を確認する場を定期的に設け、教職員が丸となって目指していく方向性を明確にしながら取組を進めていく。</li> <li>○ICT機器の活用をさらに進め、児童の主体的な学びや教職員の業務改善につなげていく。</li> <li>○委員会活動や各学年の総合的な学習の時間での取組等を蓄積し、広小学校の教育活動の充実を図る。</li> </ul>
--------------------	--